

南中 便り



協力 勤勉 善良

The Letter from Minamiōsawa!

令和8年3月19日
第8号 特別版
南大沢中学校

「ご卒業おめでとうございます」

校長 荻原 隆行

本日、令和8年3月19日、第43回卒業式を迎えることができました。卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。3年前の入学式では、まだまだ幼さが残るかわいい1年生でしたが、本日の卒業式での凛々しい姿から見てわかる通り、この3年間で見事な成長を遂げたと感じています。これから新たな場所での生活となりますが、更なる心身の成長と躍進を期待してやみません。どうか、これから先も、いろいろな障壁はあるかもしれませんが、親子で乗り越え、着実に進んで行ってもらえればと思います。

今回の卒業生たちは、38名全員の進路が決定し、全員が進学となっています。進学先で新たな挑戦をする38名に、素晴らしい未来が訪れることを願い、卒業式において式辞を贈りました。式中で話した一部を下に掲載いたしましたので、再度読んでいただけたら幸いです。

最後になりましたが、保護者の皆様にはこの3年間、本校の教育活動に多大なご理解ご協力を賜りましたことをあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。今後とも、地域のよき理解者として、本校の教育に、ご支援くださりますよう、お願い申し上げます。

【卒業式校長式辞(抜粋)】

この3年間は皆さんにとってどのような3年間だったのでしょうか。授業やクラスでの何気ない時間、行事、部活動など思い出はいっぱいあることでしょう。山あり谷あり、成功したこともあれば失敗したこともあったことでしょう。私は皆さんと同時期にこの南大沢中学校へ着任したので、ある意味皆さんと同窓生です。ですから、この3年間、一緒にいろいろな経験をしながらたくさんのごことを学び、共に成長して今日の日を迎えた気がしてなりません。入学時、小さくてまだ幼さが残っていた皆さんが、本日、威風堂々と卒業証書を受け取る姿を見て、感動もひとしおです。

さて、私が皆さんと共に学校生活を送る中で、特に印象に残っているのは、3年生になって迎えた体育祭と合唱祭です。3年生は最高学年として、常に後輩達の先頭に立って、リードしなければならない立場にありました。そのようなプレッシャーがかかる中、皆さんは、少ない人数ながらどちらの行事にも学級みんなで協力し、素晴らしいリーダーシップと最高学年としての意地を見せてくれました。

体育祭では情熱をもって競技に取り組み、特に大縄跳びでは、団結して100回以上を跳ぶという息の合わせようで、最高学年としての凄さを見せてくれました。赤団青団に分かれての応援合戦では、お互いを鼓舞するエールの掛け合いや息の合ったダンスを通して、学年を超えた心の繋がりを示すとともに、南大沢中の全校生徒が一心同体となった素晴らしい瞬間をつくってくれました。本当に、3年生のリーダーシップのおかげで、体育祭が大成功となったのだと思います。

合唱祭では、1学級しかないハンデもありながら、例年の3年生に引けを取らない素晴らしい学年合唱をつくり上げ、その歌う姿勢で立派に後輩をリードしてくれました。さらに、「南大沢中学校に入学して合唱をやりたい」「あんな感動的な合唱を中学3年生でできるようにになりたい」など、参観した小学校6年生から感想をもらい、在校生だけでなく、次年度入学してくる未来の後輩にまで良い影響を及ぼしていた皆さんの力には、心から感服いたしました。

今日から新たなステージへ一歩踏み出す皆さんの前には無限の可能性が広がっています。この卒業という節目にあたり、巣立っていく皆さんに2つのことをお話ししたいと思います。

1つは、この先にある新たな出会いを大切にすることです。「一期一会」という言葉があります。昨年、5月の離任式の際、皆さんにお話しした言葉です。

「人と出会うこの時間は、一生に一度しかないと考え、誠意を尽くして相手と接しなさい」という意味があります。また、何度も会う人に対しても、常に今回は最後かもしれないと考え、その時を大切にしなさい、という教えでもあります。新たな出会いを大切に、思いやりと感謝の気持ちをもって接してください。出会う人を大切にすることこそ、その出会いがきっかけで新しい道も拓けるものです。誰かと出会ったことで考え方が変わったり、更なる人との繋がりもできたりします。人間、自分一人では、できることに限界があります。しかし、人と力を合わせると、不思議なことに、不可能だと思われたことも可能になったり、夢が現実になったりしていくものです。ぜひ、これからも出会う人を大切に、自分の可能性を広げていってください。

もう一つは、どんな時も自分を信じて前に進むということです。これから先、それぞれの道を進んでいくと、途中のどこかで、壁にぶつかることがあるかもしれません。その時、それを乗り越えて進むのか、迂回するのか、引き返すのか決めなければなりません。どうしても進みたい道ならば、進むことに挑戦し続けてください。また、道が分かれていることもあります。選択肢は、2つ以上あるかもしれません。その時は、自分が積んできた経験を踏まえ、思い切り悩んで決めればよいのです。そして、決めて進んだ先の結果を、受け入れてください。その結果は、うまくいったとなるかもしれません。もしかしたら失敗したと感じ、落ち込むことになるのかもしれませんが、しかし、それはあくまで、その時の結果にすぎません。大事なのは、その結果が出た時が、次の道への新たな出発点だということです。皆さんは、その選択を繰り返し、それぞれの人生を生きていくのです。過去は変えることができませんが、未来は自分次第でどうにでも変えていけるのです。前を向いて、その時その時に、自分を信じて最善を尽くしてみてください。

皆さんがこれから進んでいく時代は、将来の予測が難しく、絶え間のない技術革新や価値観の多様化、少子高齢化、環境問題など様々な課題に直面しています。そんな時代だからこそ、これからのよい出会いの中で互いを理解し、自らの持ち味を発揮しながら、自分の道を進んでいく心構えが大切だと思い、2つのこととお話しました。（後略）

3年間の思い出写真コーナー

